

2016.2.22

関西大学堺校

学生の感想

ご遺族の話しを聞いて

感想

ご遺族の方の話しを聞いて、考えられないほどの苦しみの体験を聞きました。無駄にしないように生きていか、小学生の頃から何かしらで「す」と言われてきました。しかし、人間なので、実際に体験してみないと、自分には分からないもので、少しは、私もお話しを聞いて来たらどうかと思って、私には想像も出来ないくらいの苦しみを体験されていて、それを乗り越えられた皆さんはどんなものかと思いました。しかし、糸があって、遺族支援ネットワークの皆さんに出会うことが出来、その皆さんのおかげで立ち直れ、飲み会をするくらいまでの仲間になられていて、単純に人間として素晴らしいなと思ったし、出会いの大切さを実感させられました。なので、これからの人生において、私の周りでも起こる出会いであったり、別れもすべて大事にしていきたいと思います。

ご遺族の話しを聞いて

感想

大切な人を失うことにおいて皆さんが何かを得ていると感じました。何かを得るきっかけとしてこのNPO法人「遺族支援ネットワーク」があると考えました。私も東日本大震災を機に死というものを身近なものとして捉える様になりました。いつ何時命が無くなるのかわからないことを改めて深く知り、考え毎日を力強く活き活きと生きるこれが大切だと感じています。私はこれこそが東日本大震災で亡くなった人々から学んだことのひとつです。

また、皆さんと円になって様々な話をしたことでより深く死について学び、他の物事についても考えを深めることができました。日本という国で育った人間同士が年齢を超えて交流を図ることが日本人という帰属意識を高める一つの手段である。遺族支援ネットワークの活動をより多くの人に広げていただきたいと共に、上記のような交流も期待しています。

本日は貴重なお時間ありがとうございました。

3限目

ご遺族の話しを聞いて

感想

私も、3年前に父を亡くした。配偶者を亡くするのが、ストレスが一番大きいと学び、お話を聞かせて頂いた。本当にそうだと思う。私も辛か、ため、母の亡くても悲しんでいて、それを見る事の方が、正直辛か、た。大切な人を亡くした悲しみは、誰かの経験あることであり、気持ちを共有する事で、自分自身の苦しみも軽減される。今日の体験談をお話してくださった方たちも、何度もおしゃべりしたように、このような取り組みをする団体が増えているのは、今困っている人、苦しんでいる人これから楽しく生きていくためにもいいと思いた。私自身も、強く思うとは、父が亡くなり、命の不確かさを理解したことで、一生懸命、生きていこうになった。母にも、都度、感謝を伝えているつもりだけれど、親孝行は、まだ出来ていない。社会人になったら、返してきたいと思う。今日の話聞いて、命の不確かさ、生きる事を再確認することが出来ました。ありがとうございました。

4限目

ご遺族の話しを聞いて

感想

少子高齢化社会など、様々な社会問題があるが、お年寄りであっても若年者であっても、変わらなことは、お互い尊敬の念を持ち接することだと思う。人と人の繋がりがたからこそ、忘れてはいけない。よく耳にする言葉のノックに、「今時の若者は〇〇だ」というのがある。若者のくくりに使われていることも、嫌だけれど、若者から言えば、「だから、老人は!!」となってしまう。(偏りを見る。。) 共存社会だからこそ、上手くやっていかないといいけないのに。。。皆が上手く関係を持つことが出来れば、皆が住みやすい社会になるのではないかと。思う。私は、経験はないのだけれど、お年寄りの方々の経験を聞いて、自分の経験にしたいと思いました。素敵なお話ありがとうございました。